

所属	看護学部／基盤看護学系	職名	講師	氏名	小出 昭太郎
----	-------------	----	----	----	--------

1. 教員紹介・主な研究分野

教育については、学生が、社会的な研究方法や「ものの見方」を臨床や政策などの実践に生かすことができるようになることを目標にしています。

主な研究分野は、第1に、保健医療・社会保障の制度・政策に関して、制度・政策策定者サイドの視点よりも市民・患者サイドの視点に基づいた歴史研究・理論的研究・調査研究を行ってきました。現在は、イギリスの医療保障財源の設計根拠に関する歴史研究を行っており、この研究においても主に市民・患者サイドの視点に着目しています。第2に、健康の社会的不平等に関する研究を行ってきました。特に、性・年齢層別の検討を行っています。

2. 研究業績

②その他最近の業績

<学会発表>

Miyata A, Yamazaki Y, Koide S, Togari T. A Nationwide Study on the Relationship between Health, Health Related Behavior and Subjective Social Status in Japan. The First Asia-Pacific Conference on Health Promotion and Education. Chiba. 2009.7.

③過去の主要業績

- ・小出昭太郎・田村誠、「1991年英国 NHS 改革後の政府規制とその背景——「病院サービスの購入者」の設定に関する問題」、『病院管理』、第36巻第1号、1999年。
- ・小出昭太郎・田村誠、「イギリス NHS 成立時における財源調達方式の設計の根拠に関する考察」、『医療政策に関わる一般市民・医療従事者の価値判断とその論拠（平成10年度～平成12年度科学研究費補助金（基盤研究（B）（2））研究成果報告書）（研究代表者：田村誠）』、2001年。
- ・小出昭太郎・山崎喜比古、「収入と general health perceptions との関連の性・年齢による差異」、『要介護状態及び健康の形成過程における社会経済的要因の役割に関する実証的研究（平成14年度～平成17年度科学研究費補助金（基盤研究（A））研究成果報告書）（研究代表者：武川正吾）』、2006年。

5. 所属学会

日本保健医療社会学会、日本社会福祉学会、日本医療・病院管理学会、日本公衆衛生学会、日本健康教育学会、東北哲学会

6. 担当授業科目

<学部>

保健社会学・2単位・1年・後期、保健社会調査論・2単位・2年・後期、看護研究・2単位・3年・後期、保健医療福祉政策論・2単位・4年・前期、看護管理論Ⅰ・2単位・4年・前期、専門看護学ゼミ・2単位・4年・前期、卒業研究・2単位・4年・後期、日本事情B・2単位・留学生・前期

<大学院>

データ解析特論・2単位・修士1年・後期

9. 附属研究所の活動等

ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員